

事業所職員向け 保育所等訪問支援自己評価表

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、問題や改善すべき点など
環境・体制整備	①	職員の配置数は適切であるか	6		法律で定められた定数は配置している。児童発達支援管理責任者は、併設の放課後等デイサービス・児童発達支援と兼務している。訪問支援員が、保育所等への訪問を行っている。
	②	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6		定期的な全員参加(放課後等デイサービスのスタッフも含む)のミーティングの開催や、業務改善の為にマニュアル作成に取り組んでいる。
業務改善	③	保護者等向け評価表を活用する事により、アンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6		保護者向けのアンケートも実施しているが、面談の際に子供に関する事やそれ以外の事に関しても、聞き取りを行い改善が必要な箇所や問題に対しては、早目の対処を行っている。
	④	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6		アンケート調査を毎年行い、結果はホームページに載せ公表していく。
	⑤	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		6	第三者評価は行っていない。
	⑥	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	6		最低でも月に1回は、研修を行うようにしている。外部で研修がある時は、参加出来る環境を整えたり、事業所内研修も行っている。研修内容も事業所の特性を踏まえ、自閉症の特性などの理解や子供達との関わりに生かせる内容に工夫している。
適切な支援の提供	⑦	アセスメントを適切に行い、子供と保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか	6		アセスメントは、本人・保護者様からの聞き取りや検査結果等の資料はもちろん、お子様の状況を十分に観察した上でやっている。計画作成後にアセスメント内容に変更があり、支援の方向性を変更する必要がある際には、早期に保護者様への説明を行うと共に、計画や支援内容の変更の提案を行っている。
	⑧	子供の適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6		標準化されたアセスメントツールを基本とした独自のアセスメント様式を作成して使用している。
	⑨	支援の内容が固定化しないように工夫しているか	6		毎回同じ内容にならないように、この内容で続けていくかを、その子に応じてプログラムした上で支援を行っている。
	⑩	保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われているか	6		その子の現状の課題や特性を考慮し、必要なもの(環境設定等)を判断し作成している。作成した計画を元に支援を行っている。

	⑪	定期的にモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断しているか	6	利用毎の記録を元に、社内ミーティングで、支援の方向性を変更した方が良いと思われる利用者に関しては、チームで検討して必要に応じて見直しを行っている。
関係機関や保護者との連携	⑫	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子供の状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	児童発達管理責任者及び、専門性のある心理担当職員が参加している
	⑬	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	6	地域の子ども部会には所属しており、研修には出来るだけ参加している。また、昨年度代表が「自閉症についての講義」を依頼された。地域全体の発達障害に関する理解の促進に努めている。
	⑭	日頃から子供の状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	月に2回、保育所等訪問支援に関する報告の面談を行っている。それ以外でも、必要な事は事業所のスマートフォンから全利用者にラインを登録して頂いており、そちらで情報交換も行っている。
	⑮	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	契約締結の前に、運営規定・重要事項説明書について説明する時間を十分に取り、分からない事等ないか確認を行っている。
保護者への説明責任等	⑯	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	出来る限り定期的に家庭訪問し相談に乗れるよう提案している。
	⑰	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子供や保護者等に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	上記のように、相談体制は整えている。相談があった際には、出来るだけ早く（可能ならその日の夕方等）訪問やその他の方法で詳しく話を聞いて対策を検討し、早期に実施している。子供達にも、常に相談（SOSやHELP）が出来るように、支援の中に組み込んで教えている。
	⑱	個人情報に十分注意しているか	6	個人情報記載された書類の管理等は徹底した対策を行っている。また、学校への訪問の際は、お子様が周囲のお友達に、自分を見に来ていると知られたくない場合もあるので、個人が特定されないよう十分に配慮した上で支援を行っている。
	⑲	障害のある子供や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	その子や保護者に応じて、最も適切な意思疎通の方法を用いている。子供に対しては視覚支援や言葉の使い方等に配慮する事が多いが、保護者に対しては、場面に応じて、口頭や電話、書面でのやり取り等、その方にあった方法で行うように努めている。